

外題・目録

外題

【翻刻】

宇多伊茂の 全

【注】

演博本は上中下三冊のうち上冊のみの零本で、その外題に『うたひ鏡 上』とある。鴻山本は上下冊のみ存し、また他本との合写本のため外題はなく、内題はそれぞれ「うたひ鏡 上」「うたひ鑑 下」とある。

目録

【翻刻】

ヨウキヤウシウ
謡鏡集目録

第一

インセイダク
五音清濁の事

第二	声のつかひ様の事 <small>モジツウ</small>
第三	文字通ずるの事 <small>シヨハキウ</small>
第四	序破急の事
第五	呂律の事 <small>リヨリツ</small>
第六	乱曲の論 <small>ランキョク</small>
第七	座敷うたひの事 <small>ザシキ</small>
第八	噫次の事 <small>イキツキ</small>
第九	曲前の事 <small>イマス</small>
第十	しほる曲くる曲ハ差別有事 <small>シヤベツ</small>
第十一	論義問答の事 <small>ロンギモンダイ</small>
第十二	とむる曲の事 <small>シウケン</small>
第十三	祝言・幽玄・恋慕・哀傷うたひわけの事 <small>シウゲン ヲウゲン レンボ アイシヤウ</small>
第十四	二つ并二つ并字の事 <small>ナラヒ</small>
第十五	古歌のうたひの事
第十六	次曲の事
第十七	長ク引間鋪字の事 <small>(カロキ)</small>
第十八	軽と早とハ差別有事 <small>(ハヤキ)</small>
第十九	声の枕の事 <small>(シヤベツ)</small>
第二十	のふる曲の事
第二十一	枕拍子の事 <small>ピヤウシ</small>

- 第二十二 拍子あひ曲の事
第二十三 謡に寸尺有事
第二十四 謡の時身の持ち様の事
第二十五 指曲舞和歌上はの事
第二十六 三字さかり三字あかりの事
第二十七 謡(ウタヒ)に節(フシ)はかせ付やうの事
第二十八 一調(テウ)二機(キ)三声(セイ)の事
第二十九 文字(モン)なまり文字をくりの事
第三十 十二調子(テウシ)聞分(キ、ワクル)図

【注】

底本（高知本）は目録題と第十五条までの題目を欠失しているため、演博本と鴻山本を参照して補った。両本は一部振り仮名の有無を除き同内容である。また、高知本は第二十一条を「拍子あひ曲の事」に誤り、第二十二条を欠いている。これも他本目録を参照して修正した。なお高知本の本文には、第二十一条・第二十二條が欠落なく記されている。

（恵阪悟・藤田隆則）

